

【「一帯一路」を再開させたマレーシアと中国】

⇒編集後記

~~~~~

どうもゆうです！

こんにちは！

さて、私は現在マレーシアにいますが、

マレーシアでは この前まで中国との一帯一路プロジェクトが

停止されていたのですが、

つい数日前にこれが再開されたということで

話題になっております。

マレーシアなんかにいると、やはり

中国の一帯一路プロジェクトの中にある地域なので、

これから世界がどうなるか？ってのが事前に分かってくる部分があります。

とりあえずマレーシアと中国が一带一路で協調していく姿勢が

明確になってきました。

この動きが これから長い目で日本含めたアジアの  
主要な今後の動きになりますよね。

編集後記で！

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート【なぜ最近マスコミは「軍用地投資」をおおるのか？】

[http://fxgod.net/pdf/gunyouchi\\_toushi.pdf](http://fxgod.net/pdf/gunyouchi_toushi.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

FX Nのオンラインセミナーの録画版はこちら

⇒ <http://fx-ntre.com/onlinesa/saionyu>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDF【「行動力を上げる裏技」とは？】

<http://fxgod.net/pdf/koudouryoku.pdf>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート

【「20代の4割は童貞」という  
驚愕の統計データについて考える！】

[http://fxgod.net/pdf/20dai4wari\\_doutei.pdf](http://fxgod.net/pdf/20dai4wari_doutei.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート

【マスコミが報じない「吉本興業に天下りをした警察OB30人」  
について考える！】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/yoshimoto\\_keisatuob.pdf](http://fxgod.net/pdf/yoshimoto_keisatuob.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート

【EUのドイツとフランスは  
米ドル決済を使わないINSTEX（インステックス）活用を  
進めていく】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/instex\\_eu.pdf](http://fxgod.net/pdf/instex_eu.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート

【なぜマスコミは芸能人の  
入江さん、宮迫さん闇営業問題を  
「プロパガンダ」しているのか？（警察天下り利権）】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/irie\\_miyasako.pdf](http://fxgod.net/pdf/irie_miyasako.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート

【NY ダウが27000ドル超えの中、  
ドル円が107円台の相関現象 について2月のメルマガから考える！】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/ny27000\\_dollar107.pdf](http://fxgod.net/pdf/ny27000_dollar107.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート（コラム）

「私たち人類は実は何も知らない!？」

[http://fxgod.net/pdf/muchi\\_no\\_chi.pdf](http://fxgod.net/pdf/muchi_no_chi.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

メルマガバックナンバーより

【副島隆彦先生と田中研究員の「NHKをぶっ壊す」についての  
最新言論を見る！】

<http://www.fxgod.net/a/groups/8042063/soejima20190718/>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDF【「生産性」をあげると誰でも楽しんで稼げる、という話】

<http://fxgod.net/pdf/seisansei.pdf>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

FXNの動画「+105万円利益確定のトレードの説明動画です！」

⇒ <http://www.snatchfx.com/fxn150man>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート【天井の時間帯は！？】

<http://fx-ntre.com/pdf/ci5.pdf>

【FX 天井・底の時間帯が分かる手法】サイクル理論とは！？

<https://youtu.be/a4AAr-xn4FY>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【FX サイクル理論動画】ライト・レフトトランスレーションの  
エントリー戦略とは？（FX・Nが徹底解説）

⇒ [http://www.snatchfx.com/cycle\\_trade](http://www.snatchfx.com/cycle_trade)



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**【動画】 スーパートレーダー FX・N が教える「サイクル理論・入門」を  
公開！**

⇒ [http://www.fxgod.net/a/groups/7091080/fxn\\_cycle1/](http://www.fxgod.net/a/groups/7091080/fxn_cycle1/)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**【FX・NさんのPDFレポート1】  
「サイクル理論とは何か？」**

⇒ [http://fxgod.net/pdf/cycle\\_theory.pdf](http://fxgod.net/pdf/cycle_theory.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【FX・NさんのPDFレポート2】

「サイクル理論トランスレーション編

トランスレーションを理解して「波の性質」を見極める！」

⇒ [http://fxgod.net/pdf/cycle\\_translation.pdf](http://fxgod.net/pdf/cycle_translation.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDF【サイクル理論損切りラインの決め方とは！？】

⇒ <http://fx-ntre.com/pdf/ci2.pdf>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**【PDF】大富豪たちが使う「サイクル理論の構成」とは？**

⇒ [http://fxgod.net/pdf/cycle\\_kousei.pdf](http://fxgod.net/pdf/cycle_kousei.pdf)

**PDF【サイクル理論天井と底はどこ！？】**

⇒ <http://fx-ntre.com/pdf/ci3.pdf>

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆

**【動画】分割決済の方法はこちら↓**

⇒ <https://www.youtube.com/watch?v=huDd8YAX4qA>

★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆

=====**編集後記**=====

さてさて、昨日なんかは

【日韓の対立が「演出」される理由とは？】

っていう号を流しましたが、

とりあえず 日本などの極東アジア地域については

これから 日本、韓国、北朝鮮、中国、ロシアなんかは

一時的には お互い争う姿勢を見せつつ、

2020年代には徐々に協調していく姿勢になっていく

話を書きました。

ちなみに日本というのはやはり高齢者の国でありますから

これから世界のアジアの中では、発言力というかプレゼンスは

落ちていくってのは感じるころですが、

逆に若いこれから経済発展していくアジア諸国が

代わりに世界の中では存在感を増していきそうです。

それで、最近では東南アジアが元気だな～なんてことを

私はマレーシアにいながら日々感じるのですが

最近までですが、マレーシアと中国の間で一帯一路のプロジェクトが

停止していたのですが

つい、この前これが再開しておりますね。

マレーシアのスターオンラインが報道してます。

**China, Malaysia restart massive Belt and Road project after  
hiccups**

**(中国とマレーシアは巨大な一帯一路戦略を少し遅れて再開する)**

[http://www.fxgod.net/a/groups/8016624/malay\\_oneroad/](http://www.fxgod.net/a/groups/8016624/malay_oneroad/)

**(英語)**

**ちなみに中国が展開する**

**「一帯一路」って何だ？って話ですが**

**これは不自然はほど、日本では報道されていないのが**

**現状ですが、**

**もうこれから端的に言うと、好きとか嫌いの話ではなくて**

**世界は「一帯一路」で動いていくって話なんです。**

ちなみに一帯一路の 基本的な考え方は何かって言うと、

まず先進国ってのは今どこも不況なわけですね。

日本もだし、アメリカもだし、欧州もだし。

実際に今の世界を俯瞰していくと、

「先進国の人がどんどん貧乏になっていき、

そして一方新興国の人たちがどんどん金持ちになっている」

ってのが現状ですよ。

実際に、昔なんかだと日本に旅行に来る人ってのは

白人たちが多かったわけですが

最近はまだアジアのいたるところから

おそらく日本にも観光客が来てると思います。

要するに物価の高い日本でもホテル代とか出せるようになってるし

飛行機代とかも家族分で何十万円とか

払えるようなアジアの人たちがどんどん増えている、

わけですね。

それで一方、先進国なんかは、日本もアメリカも

株価だけは粉飾して買い支えるから上がってるんだけど

実際の人々の生活はどんどん貧しくなってる、っていう

現状ですよ。

一応政府の大本営だと日本は好景気ってことらしいですが、

よほど脳みそ弱い人でない限り、



それが嘘と最近はみな気づいてきている。

それでこの先進国不況の潜在的な問題があって

それが「余剰」ってものでして、

もう色々なものが余剰なんですね、先進国では。

例えば「物」はあふれておりますし、

また「サービス」もあふれている。

多くのものが余剰でして、結局需要より

供給のほうが多い状態ですから

価格値下げ合戦もすごいものですし、

ここで物が売れないとなっていてまして

大企業もどんどん営業利益を落としておりまして

そこでリストラも相次いでいると。

「余剰」って問題が大きくなるわけです。

それでその先進国の「余剰問題」ってのに対して

中国なんかはロシアと共に展開していくのが

実は「一帯一路 One Road One Belt」ですよ。

これはどういうものかっていうと

「需要を強制的に作ってしまえ」というものなんです。

経済学で言うと、ケインズって立派な人がいて

彼が「有効需要の創出」ってのを言ったんだけど

ケインズの前の学者ってのはかなり愚かであって

「供給を増やせば増やすほど、需要が勝手に作られて

経済はうまくいく、という嘘」

を言っていたわけですよ。

経済は自動調整される、とか嘘をいった学者たちがいまして

これを強烈に批判したのがケインズだった。

ケインズが言うのは一言で言えば

「そんなに世の中甘くない！作っても売れないのが

一番の問題だ」

ということなわけですね。

この「作っても売れない問題」ってのが先進国の本質的な

病、です。

それでここで対抗する考え方としてケインズが唱えたのが

「需要は強制的に作るしかない」

って考え方で、

ここで需要を強制的に作り上げて、経済を引っ張っていく

という考え方をするわけですね。

それが「一帯一路」です。

例えば今の世界の需要がこのままだったら

いずれ需要を世界で食い尽くして、

結局 世界経済は不況になる。

だからそこで、「需要を強制的に作ってしまえ」

っていうことで

出てきたケインズ思想を学んだ中国の人らが

進めていくのが

「一帯一路」ですよね。

ここでだから今まで砂漠だったり村だったり

するようなところに

人口100万人くらいの街を人工的に作ってしまう、

んです。

その人口100万人くらいの街を

砂漠の中に、1000個以上作る。

それで10億人20億人くらいは食わせていくっていうかなり

大きな発想がありまして、

ここで無理やり人口100万人規模の街を作って

そこで強制的に需要を作り出す、わけですね。

これが一帯一路です。

今までは戦争で公共「破壊」事業である戦争をやって

それで一度 橋なり、街をぶち壊して、

また新しく 同じ橋なり道路を作るって言う

ことをやっていたのが人類だけど

ここで一帯一路で大きな戦争は極力おさえて、

それで世界経済を 無理やり、強制的に需要を作って

引っ張っていこう、という大きな考え方がある

わけですね。

それで、この一帯一路の地域が実は私があるマレーシア

であったりするんだけど

以前、マハティール首相が 中国側の交渉において

値段なんかで不透明な部分があったので

このマレーシアにおける一帯一路プロジェクトを中断していた

のだけど

それを今週木曜日から再開したってのが上のニュースです。

それでこの一帯一路プロジェクトで

電車の路線を作るっていう話があったんだけど

それがコストが高いって話でマレーシアのマハティール首相は

断っていたのだけど



これを最近3分の1くらいの価格で交渉が終わったようで

それでこれからマレーシアに一带一路の、

高速鉄道が走るということになります。

ちなみに最終的にはこの一带一路の構想ってのは

「ユーラシア大陸を鉄道や道路で結んでいく」っていうものでして

今までの人類ってのは「海の時代」だったわけですね。

バスコダガマ以来の。

そこで大英帝国なんかが各国に植民地を作って

栄華を極めたんだけど、

それがもうそろそろ終わりになる。

だから今生きてる私たちってのは数百年間続いた

歴史の転換点にいる、ともいえまして、

これは強烈なチャンスがアジア中に転がってるってこと

なんだけど、

これから世界のルールが変わるんです。

それで今までは海の時代だったけども、

これが「陸の時代」になっていきまして、

この一帯一路で「ユーラシア大陸」が鉄道で結ばれていく

予定なわけですよ。

ちなみにユーラシア大陸のユーラシアってのは

ユーロとアジア をあわせて

ユーロアジアでユーラシアです。

それでこのユーラシア大陸っていう陸が

これからどんどん鉄道なんかで結ばれていって

鉄道でアジアとユーロ圏を移動できる時代に

大体2020年~2040年代あたりに変わっていく

わけです。

こういう大きな流れってのが世界でできていて、

それは日本人にとっては初耳かもしれないけど

マレーシアの人たちはこの辺どうも分かっている。

それでマハティール首相ってのは政権交代で勝つ前に

「中国と前首相のナジブの 一带一路の交渉は

フェアじゃない、高すぎる」ってことで

この一带一路プロジェクトをキャンセルして再交渉する、ってことを

明言してそれで首相になったんだけど

これが再交渉が終わったようで、最近ようやく

この一带一路プロジェクトの再開が決まったってことですね。

もうマレーシアは、日本より先んじて

中国と一带一路プロジェクトで協力していく姿勢を

明確にしていますよね～

それでどこに鉄道ができるか？っていうと

このページの下の方にマレーシアの

地図があるんだけど

そこに これからの一帯一路の路線がどのように建設されていくか

が描かれています。

**China, Malaysia restart massive Belt and Road project after  
hiccups**

**(中国とマレーシアは巨大な一帯一路戦略を少し遅れて再開する)**

[http://www.fxgod.net/a/groups/8016624/malay\\_oneroad/](http://www.fxgod.net/a/groups/8016624/malay_oneroad/)

**(英語)**

それでこの一帯一路プロジェクトは

多くの発展途上国の経済発展のスピードを相当速めるってことが

期待されているのだけど

一方、問題がそこで中国に多くの負債を負ってしまうってこと

であったのだけど

その辺は価格の調整が終わって、

マレーシアのマハティール首相がそこまで大きくない負債で

この一帯一路を展開できるようになったようで

それで再開となっておりますよね。

また鉄道建設でも中国人に仕事が割り振られてしまうのではないかと

みたいな懸念はあったんだけど

結局70%の労働者がマレーシア人で

またマレーシア国内の建設企業たちが40%は仕事を受注できる

みたいな話になってきておりますよね。

それで面白いのが、今までマレーシアってのは

私がいるクアラルンプールなんかがそうだけど

「マレー半島の左側」が結構発展してきたわけですね。

マレーシアで大きな都市ってのが

クアラルンプールとかペナンとかマラッカとか

ジョホールバルとかですが

比較的マレー半島の左側が発展してきました。

がここで一帯一路が発展していきますと、

マレー半島の今までは誰も旅行にも行かなかったような

右側もこれから徐々に発展していきますして、

ここで新しい経済ができてくるってことになるわけです。

だから私もこのマレーシアの右側の地域ってのは行った事

ないけど、

今まではジャングルだった地域に高速鉄道が通りまして、

そこでその周りに都市がぼんぼんとジャングルの中に

できてくる未来ってのが



2020年代～2030年代になりますね。

これはまあ面白いですよ。

ちなみに私がいるクアラルンプールなんかはもう大都市

なんだけど

これからマレーシアのいたるところに大きな都市が

ぼんぼん出来てくるのでしょ。

そこで新しい需要がそれらの地域で多極的に発生しますから

そしてその地域の需要が マレーシアやひいては

世界経済を引っ張っていくっていう未来にこれから

なっていく。

sonde kore kara chugokujin toshijaka nanka ha  
dondondono "ichibu-ichiro toshiji" nanka o yaru hazude

tedo kensetsu eki shuhen nanka no tochi o dondon

kaite iku deshou shi,

osoraku kongo jushun de sara ni chugoku no kinuchi ha

shoukan aezu runde shou.

dakara yo ni wa chugoku no seicho ha mou owatte kore kara ha

owari da, toiu ronryo desuga

wa sou ha mite inaide

「これからいよいよ中国が

成長段階に入っていく」

ってのは見ておりますよね。

それはアメリカ帝国が没落したら、急に

このアジア地域の発展が 顕著になっていく感じですよ。

だから今までは世界の金持ち国家っていうと

欧米とか日本だったわけですが、

ここで、世界の金持ち国家ってのは基本的にアジア

ってことになっていくんでしょう。

今はまだ国際政治ではアジアの存在感ってのは

中国以外ではそこまで大きなものでもないですけど、

これからアジアってのがどうしても

世界では注目される地域になる。

また統一朝鮮、英語表記だと 韓国と北朝鮮が

緩やかに統合していき

KOREA みたいな統一名称になる可能性も考えられますが

(今は South Korea ,North Korea という名称。

昔の西ドイツ、東ドイツみたいなもの。)

そうなると一気にまた朝鮮半島でも巨大なマーケットが

誕生ですから、

ほんと世界のルールがこれから数十年で変わっていくのは

これ間違いないななんて思います。

それで私なんか間違いないななんて思ってるのが

マレーっつのがもう東南アジアで一番先に先進国になっていく

と。

もう既に生活レベルでは日本をKLの中間層あたりは

越えてきてると思いまして

シンガポールに類似してきてる感じはありますが

これからまだまだマレーシアは子供も多いですから

本格的に発展していくことでしょう。

実は日本が本当は一番 アジアでは

「動きが早かった」のだけど

2009年には小沢鳩山がこの一帯一路の流れが

世界の主流になると気づいて

中国と協調して仕掛けようとしたわけですが

これが日本のマスコミや官僚たちや職員たちに

潰されたのは記憶に新しい。

それで日本はこの一帯一路のある種の利権に乗り遅れた

んだけど

そこをうまく突いて、この利権を一気に

自国に吸収して経済成長しようとしているのが

マレーシアのマハティールですよね。

そういう意味では日本が経済発展しない代わりに

優秀なリーダーがいる国が若いマレーシアが経済発展してる

ともいえるかもしれません。

海外から日本を見ると分かることがあって

日本ってのは世界ではビジネス面で

「動きが遅い」「スピードのろい」

と揶揄されるようになってきてるけど

実は本来の日本人のビジネススピードとか決断スピードって

早いんですよ。

実際日本の高度経済成長期の日本企業の

決断スピードの早さは世界で有名だった。

がそれ以降、日本では官僚機構が肥大化しすぎてしまって

最近だと「コンプライアンス」ですよ。

これでもう 「コンプライアンス確認」でビジネススピードは

相当遅くなってますし、

(その代わり警察の天下りはウハウハだけど。

吉本興業なんかの事件でも私が書いてきたシナリオで

第3社委員会設置とかになってきてる。)

今はもうアジア企業の間では「日本企業はスピード遅いから

仕事したくない」なんてなってますけど



そういう意味で日本がこれから早いスピード展開で

ビジネス展開して 一帯一路の利権とって行くためには

やはり 日本の癌である

官僚機構をどうにかしないとまずいってことでしょう。

政治家は「NHKはぶっ潰す」は言えても、

「官僚機構をぶっ潰す」は怖くて言えない。

そんなのも私が感じていることですよね。

逆に日本の官僚機構強すぎ問題ってのが解決されていけば

日本もこれから経済が息を吹き返すかもしれません。

それで最近はもうとにかくマレーシアなんかの

一帯一路の決定スピードが早くて

1年前は 費用見直しのため凍結だったけど

1年で既に再開。

政府レベルの決定もすごい早いですよね。

こりゃ～マレーシアはすごい勢いで発展するな

なんて感じられます。

(今の時代はスピードが早い人が勝つ)

それで、昨日

【日韓の対立が「演出」される理由とは？】

で書きましたが

日本や韓国の政治家たちなんか日韓対立を作り上げてでも

それでも中国との すりよりを優先するのは

やはりこの一帯一路プロジェクトの経済的恩恵を受けるため

でして

日本の政治家も 利率も返還されない米国債買うよりも

この一帯一路に金持ち国家の日本の資産を投入したほうが

長期的に利率が高いのを分かってるんでしょう。

今はマイナス金利だけど日本経済ももし一帯一路に

うまく食い込めたら徐々に金利をつけられるようになる。

そういった意味で最近では日本の政治家たちも

早く中国の一帯一路に食い込めるように

動いてるな~という感じです。

ということでこれからの時代は好きとか嫌いの話じゃなくて

冷静に見ると

大きくは 一帯一路を通じて「陸の時代」になっていきます、

と。

海の時代は終わりを告げて、

陸の時代でユーラシア大陸に ぼんぼん鉄道が建設されていき

その鉄道でアジアとユーラシア大陸が結ばれていく

そういった時代になっていくんでしょう。

その時代の転換点が今、ですよ。

そういう意味では 今若い世代なんかは

アジアにチャンスがあるのは間違いないですから

この大きな波を捉えていない人は日本国内の需要でなんとかなる

とか言ってるものですが

それは少し視野が狭まってる言論だと思いますので

アジアを見るってのが大事かなと思う次第です。

これからのトレンドは既存の先進国が影響力を下げていき、

マレーシアみたいな新興国が影響力をあげていく時代ですから

資金投下先もそういう大きな流れを想定して

資金投下を長期的にしていくのが大事かななんて思いますよね。

それでは！

ゆう

追伸・・・ちなみに私なんかは第2のリーマンショックは

意識はしてるけど

ここでメインの打撃を受けるのはやはり

既存の先進国です。

安倍が以前に「第2のリーマンショック」に言及して

左派や世界中の新聞に叩かれたけども、

実は安倍は副島隆彦読者なので、（昭恵さんさんが  
副島先生にそう言ったらしい。安倍の家には副島本がある）

やはり彼は第2のリーマンショックを想定してるでしょう。

そこで 先進国で打撃を受ける地域が

アメリカ、欧州、日本だけど

ここで欧州は中国の一带一路に協調してなんとか

打撃を減らそうと動いていて

日本も最近はその動きですね。

そのときになっても、実需があれば

大きく株価なりは下がっても回復できますから。

それでアジア地域なんかは、やはりどの国も

第2のリーマンショックがあったら 打撃を受けるでしょうが

ただやはり需要が強いため回復すると私は見てるんです。

若い国は回復が早い。

だから投資対象国を選定する際には

必ず、人口ピラミッドを見ておく必要はありまして

子供が多い地域であることが大事ですね。

そういう国は第2のリーマンショックがあっても

株価が平均20～30%下がっても



再度そこから高値を数年で更新できる。

これからの時代はこういった大きな世界の流れを見て

個人は投資行動をしていくのも大事なと思った次第です。

それでは！

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**FX Nのオンラインセミナーの録画版はこちら！**

**※募集は終わりましたが  
このセミナーはサイクル理論や**

**勝ちトレーダーのマインドなどが詳しく学べて**

**学びあるセミナーでした**

⇒ <http://fx-ntre.com/onlinesa/saionyu>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆